

名張市立病院だより



発行/名張市立病院
〒518-0481
三重県名張市百合が丘西1-178
☎0595-61-1100(代表)
FAX 0595-64-7999
✉hp-somu@city.nabari.mie.jp
名張市立病院 検索



診療室からの実況中継 (小児科)

予防医学「3つの予防接種(ワクチン)」

●ヒブ(Hib)ワクチン

ヒブとは、インフルエンザ菌b型の略称です。現在明らかになっている、わが国のヒブ髄膜炎の特徴は、次のとおりです。

ヒブは新生児期以後の髄膜炎の原因菌第1位です。Hib髄膜炎の発病者は各種調査により、全国で年間500〜600人と推定されています(これは、生後2ヵ月〜5歳児の2000人に1人がかかっているという計算になります)。患者の年齢は0歳台の乳児が53%と最も多く、0〜1歳で70%以上を占めています。発病のピークは生後9ヵ月ですが、5歳以上の発病はまれになります(この年齢になるとインフルエンザ菌に対する抵抗力が作られるためです)。

死亡は約5%(20人に1人は死亡します)で、20〜30%にてんかん、難聴、発育障害などの後遺症を残します。

初期症状は発熱、嘔吐、元気が無いなど、風邪症状と変わりなく、早期診断が困難で、しかも急速に症状は進行します。

近年抗生物質への耐性が急激に進み、また症状の進行が早いいため、抗生剤での治療が困難になってきています。

このように風邪と初期には見分けがつかず、しかも症状が急激に悪化し、抗生剤も十分には効かない例が少なくありません。そして死亡や後遺症が高率に残る恐ろしいHib髄膜炎にはワクチン(ヒブワクチン)による予防が合理的であり、世界中で認められている最も有効な方法です。

●小児用肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌は、子どもの細菌性髄膜炎、菌血症、肺炎、中耳炎などの主要な原因菌の一つです。

WHO(世界保健機関)によると、世界では肺炎球菌感染症により毎年約100万人の乳幼児が死亡しています。

2007年にはWHOより、すべての国において小児用肺炎球菌結合型ワクチンの定期接種を優先的に導入するよう、ポジションペーパー(※)による推奨が出されています。日本国内においても肺炎球菌は、インフルエンザ菌(主にb型)とならび小児期の重症感染症の主要な原因菌であり、抗菌薬に対する耐性をもつ耐性菌が増加していることから、ワクチンによる予防が極めて重要視されています。

●子宮頸がんワクチン

子宮頸がんは、性行為を通じたヒトパピロウイルス(HPV)の感染が主な原因で、年間1万人以上が新たに発症し、約3500人が死亡しています。特に近年、日本では20代と30代の女性のがんでトップを占め、発症者が増加しています。一般的にヒトパピロウイルス(HPV)が直接子宮の入口に感染しても90%は自然に排除されますが、10%は感染が持続します。

持続感染者の1%は数年〜10数年後に子宮頸がんを発症する可能性があるため、海外では12歳前後の小児に対する優先的な接種が行われています。国内においては、昨年10月に10歳以上の女子を対象に子宮頸がんワクチンの任意接種(自費3回接種)が解禁されました。順次、接種が可能になる見通しとなります。ワクチン接種により、将来的に子宮頸がんが7割以上減ると見込まれています。

※与えられた資料や課題に関して、自分の考え方や立場を述べること。

名張市立病院 小児科の一般外来診察時間と救急体制

小児科		月	火	水	木	金	土	日
一般外来	受付/午前8時30分〜 診察/午前9時〜11時30分	○	○	○	○	○	△	△
	受付/午後1時30分〜 診察/午後2時〜4時	△	△	△	○	△	△	△
二次救急	午前8時45分〜午後5時	○	○	○	○	○	○	○
	午後5時〜翌朝午前8時45分	○	○	○	○	○	○	○

※○印の曜日・時間帯に受診いただけます。※1月11日(祝)は、名張市立病院に変更となっています。



診療に関するお問い合わせは
市立病院総務医事室へ
☎61・1100

今号では、小児科より、「予防医学」に着目して、3つの予防接種についてご紹介いたします。

内科・循環器内科・神経内科・泌尿器科
からのお願ひ

◆皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。◆

内科・循環器内科

平成19年10月より、初診の際は、必ず、開業医など他の医療機関の「紹介状」を必要とする「完全紹介外来制」とさせていただきます。

神経内科(木曜日診察)

平成21年10月より、初診の際には、開業医など他の医療機関からの事前予約を必要とする「完全予約制」とさせていただきます。

泌尿器科(月曜日診察)

平成21年11月より、初診の際は、必ず、開業医など他の医療機関の「紹介状」を必要とする「完全紹介外来制」とさせていただきます。

**市立病院で勤務している
後期研修医の紹介**

内科後期研修医
吉田 康郎 医師

市立病院で、2年間の初期(前期)研修を修了した3人の医師(内科1人・外科1人・麻酔科1人)が、引き続き当院で後期研修医として勤務しています。

今回は、内科後期研修医の吉田医師を紹介いたします。



三重大学卒業後、当院で初期研修を終了し、現在、内科で後期研修に励んでいます。専門は消化器で、食道、胃、大腸、肝胆臓といった臓器疾患の診断治療を主としています。胃カメラ、大腸カメラや内視鏡的胆管膵管造影検査などを行います。名張市でも徐々に高齢化がすすんでおり、高齢者特有の疾患が多く治療に難渋することもしばしばです。

しかし、お年寄りの皆さまにいつまでも元気に長生きしていただけるよう、日々研鑽し診療能力の向上に努めています。忙しいときほどじっくり患者さまの悩みを聞けるように心掛けていて、温かく心のかもった、地域に根差した医療を目標にしています。

まもなく移り住んで3年になりますが、この地域は赤目や青蓮寺などの自然豊かな四季の移ろいに満ちており、古びた昔ながらの街並みに包まれつつ、四季折々の美食を堪能できる住みよい土地だと感じます。

喜びあふれる生活をいつまでも市民の皆さまに感じていただけるように医療面から支えることが、わたしたちの役割です。これからも市民の健康な生活を守るべく努力していきます。

外来診療担当表

平成22年1月1日現在

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
内科 循環器内科	第1診	伊藤	伊藤	●伊藤	伊藤	●谷村	谷村	谷村	谷村	伊藤	伊藤
	第2診	泉	泉	常岡		●吉田	吉田	●泉	泉	泉	泉
	第3診	●山中	山中			山中	山中	山中	山中	●岡本	
	第4診	杉浦	杉浦			杉浦	杉浦	吉田	吉田	●杉浦	杉浦
	第5診	●常岡	常岡	循環器内科医師(※1)	循環器内科医師(※1)	我山	我山	●我山	我山	我山	我山
	第6診										
腎臓内科(※2)						堅村(※3)	堅村(※4)				
神経内科(※2)								佐々木	佐々木		
泌尿器科(※2)		岩本	岩本								
小児科	第1診	須藤博明	須藤博明 (予約外来)	須藤京子	岡本 (予防接種)	須藤博明	須藤博明 (予約外来乳児検診)	岡本	岡本 (外来14時~16時)	須藤京子	須藤京子 (予約外来)
	第2診				須藤博明 (予約外来)				須藤京子 (予約外来)	須藤博明 (予約外来)	
外科	第1診	浦田		浦田/坪内 (※5)		寺邊		浦田/坪内 (※5)		寺邊	
	第2診	坪内				竹内				浦田	
	第3診	寺邊				坪内				久保田	
整形外科	第1診	園田		内藤		植村		松村		植村	
	第2診	松村		園田		松村		園田		内藤	
	第3診	植村									
脳神経外科		横田		井田		横田				井田	
眼科		生杉		生杉	生杉	生杉	生杉	生杉	生杉	生杉	

●…初診外来 (※1)…ペースメーカー外来(1・4・7・10月の第3週のみ) (※2)…診察室は、小児科第3診となります (※3)…第4水曜日
(※4)…第4水曜日を除く水曜日 (※5)…いずれかの医師が担当

受付時間



<予約のないかた> 受付時間 午前8時30分~午前11時30分
 ○内科、循環器内科、神経内科は、医師の紹介状をご持参ください。
 ○泌尿器科については、事前予約を必要とする完全予約制となります。
 ○小児科のみ木曜日午後1時30分~午後4時も受付
 <予約のあるかた> 午前8時~予約終了時刻まで

保険証などは

保険証・医療証などは、月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。